

山岡鉄舟生誕180年記念

# 山岡鉄舟と 江戸無血開城



同時開催

「伊藤晴雨 幽霊画展」常設展示室内 5F企画展示室

平成28年8月11日(木・祝)~9月25日(日)

常設展示室内 5F企画展示室

【開館時間】午前9時30分~午後5時30分 土曜は午後7時30分まで。

ただし、8月12日から8月27日までの毎週金・土曜日、および9月9日(金)、10日(土)は午後9時まで開館。入館は閉館の30分前まで。

【休館日】8月22日・29日、9月5日(各月曜日)【主催】東京都 東京都江戸東京博物館【特別協力】臨濟宗 全生庵

※常設展観覧料でご覧になれます。

①開基鉄舟居士肖像 ②鉄舟扇乱 いずれも全生庵蔵

江戸東京博物館  
EDO-TOKYO MUSEUM

CULTURE & TOKYO



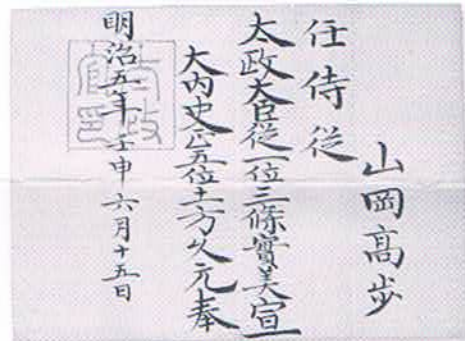
# 山岡鉄舟生誕180年記念 山岡鉄舟と 江戸無血開城

- 第一章 天保期の江戸
- 第二章 山岡鉄舟の生い立ちと活動
- 第三章 江戸無血開城と徳川家の駿府移封
- 第四章 明治の山岡鉄舟

徳川幕府が置かれた江戸は、18世紀初頭に推定で100万の人口を抱えた世界有数の巨大都市でした。明治新政府はその都市基盤を引き継ぎ、江戸を新たな都・東京としました。このような江戸から東京への円滑な移行は、「江戸無血開城」といわれるように、江戸が戦禍を免れたことによって可能になりました。

この江戸無血開城に大きな役割を果たしたのが、山岡鉄舟でした。鳥羽・伏見の戦いに敗れて江戸に戻った前将軍・徳川慶喜の護衛にあっていた鉄舟は、江戸に迫り来る新政府軍との交渉役を慶喜から依頼されます。そして、新政府軍参謀の西郷隆盛と駿府で会談し、徳川家の処遇や戦闘回避の条件について協議を行いました。江戸無血開城といえば、勝海舟と西郷隆盛の江戸での談判が有名ですが、鉄舟もまた、その実現に深く関わっていたのです。

本展では、山岡鉄舟の生誕180年を記念して、その生涯に注目しながら、幕末・維新史のハイライトである江戸無血開城を振り返ります。



① 尊模通壺 ② 御紋付銀杯(明治天皇下賜) ③ 古紫石唐砚 ④ 侍従任官状 ⑤ 七宝焼菓子皿(明治天皇下賜) いずれも全生庵蔵

**関連事業** ミュージアムトーク(展覧会見どころ解説)日時=8月12日、8月26日(各金曜日)午後4時から30分程度 ※常設展示室5階、日本橋下にお集まりください。



## 常設展観覧料

一般	600円(480円)
大学・専門学校生	480円(380円)
中学生(都外)・高校生・65歳以上	300円(240円)
中学生(都内)・小学生以下	無料

※( )内は20人以上の団体料金。

※中・高・大学・専門学校生の方は学生証を、65歳以上の方は年齢を証明できるものをお持ちください。

※次の場合は常設展観覧料が無料です。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。

※毎月第3水曜日(シルバーデー)は、65歳以上の方は常設展観覧料が無料です。年齢を証明できるものをお持ちください。

※家族ふれあいの日(8月20日・21日、9月17日・18日)に観覧の、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住)2名の料金が半額となります。

※特別展の会期中は、お得な特別展・常設展共通観覧券もごさいます。(特別展の料金は展覧会ごとに定めます)